



# 経営(継業)のツボ

## 早川浩士

有限会社ハヤカワプランニング代表取締役

### 「なおりみキャンドル」

9月9日早々、「大坂なおみ選手が、全米オープンテニスの女子シングルスで初優勝を果たしました」とのニュースが飛び込んだ。

これまで日本人の男女を通じて

次に内部告発され、そのたびに当事者とその関係者の記者会見が開かれ続けた日本のスポーツ界の監督、コーチ、選手の言動を見聞きするにつけ、もどかしさ、やるせなさなどが入り混じった複雑な心持を抱いていたからである。

すごく我慢。我慢と集中」だった。

番組では以前、メンタルが弱いことからロウソクを「なおりみキャンドル」と名づけて彼女にプレゼントした松岡から、我慢して精神を安定させ、テニスの炎を消さないことが大切だとアドバイスを受けていたことが明かされた。

「我慢と集中」には、「なおりみキャンドルの炎を消さない」とメンタルの弱さを克服しようとするプロ選手の箴言として得心した。

### 「我慢を覚える」

仏教でいう慢(思い上がりの心)の状態を七つに分けた一つに、我慢(自分に執着することから起こる慢心)は由来しているという。

「今日の仕事はきつかったが、どうにか我慢した」、「階段から転んだ痛みを我慢する」、「食べたいのを我慢した」など、苦しさ・つらさ・痛み・寒さ・くやしきなどをこらえる気持ちから「我慢、我慢」が口癖の人、その姿を見て「我慢強い」と言う人、「文句(不平、不満)ばかり言っていないで、もっと我慢することを覚えなさい」を常套句にしている人もいる。また、こらえる気持ちを「笑いたいのを我慢

した」と言うこともあるが、いずれの場合も「辛抱」や「忍耐」にも通じる意味合いが含まれていると考える。

今回の決勝では、対戦相手の元世界ランキング1位のセリーナ・ウィリアムズ選手と大坂選手、それぞれが我慢比べの様相を呈した試合ではなかっただろうか――。

米国のゼネラル・エレクトロニクス社の最高経営責任者であったジャック・ウェルチが経営改革手法として用いた「選択と集中」は、介護業界にも広く浸透している。

サーシャ・ベイジンコーチの心の機微に触れた指導によって、「強情我慢」を捨てて「我慢を覚える」ことを「選択と集中」したからこそ、全米オープンでストレート勝ちという快挙を成し遂げたに違いないと傍目八目的な思いに耽った。

人材という人的経営資源の集中的投入をどのように「選択と集中」すべきか。いや、「我慢と集中」と言うべきかもしれない。

厳冬の後、春にはきれいな花を咲かせるたとえに「我慢する木に花が咲く」がある。

時に「我慢強い人」たれ。

### 「我慢と集中」

転期に立つ経営の視座 ⑥

誰もがなしえなかったテニス四大大会の一つ、全米オープンシングルス優勝という偉業を伝える一報に年甲斐もなく沸き立ってしまった。

5月頃から、パワハラ・暴力・権力闘争・不正疑惑等々、何かとスキャンダラスな出来事が次から

その翌日、一躍、時の人となった大坂選手にテレビ朝日系のTV

番組で独占取材した松岡修造は、「トーナメントに勝てたのはなぜ? 優勝できた理由は?」と問いかけていた。たどたどしさが感じられる彼女の口から出てきた言葉は、「うーん、たぶん、我慢した。